

鮫川村教育振興基本計画

2020年度(令和2年度)～2024年度(令和6年度)

2020年9月

鮫川村教育委員会

【 目 次 】

I	はじめに	1
1	計画策定の目的	
2	計画の位置づけ	
3	計画の期間	
II	教育を取り巻く社会情勢	3
1	今の教育の現状と課題	
(1)	少子高齢化の進行	
(2)	家庭教育の役割と地域社会	
(3)	人々の価値観の多様化	
(4)	高度情報化社会とグローバル化の進展	
2	村の教育の現状と課題	
(1)	鮫川村の教育	
(2)	学校教育の現状と課題	
(3)	家庭学習と基本的生活習慣	
(4)	村の人口動態と教育の役割	
III	基本理念と教育の基本目標（鮫川村教育大綱より）	4
1	基本理念	
2	教育の基本目標	
3	基本目標実現に向けての基本的施策	
IV	基本的施策の具体的な取り組みについて	6
1	生涯にわたって楽しく学び、生きがいに満ちた生涯学習の推進	
(1)	方針	
(2)	主な取り組み	
2	夢と希望をもって学び続ける子どもをはぐくむ学校教育の推進	
(1)	方針	
(2)	主な取り組み	
3	ふるさと鮫川を未来に引き継ぐ文化芸術活動	
(1)	方針	
(2)	主な取り組み	
4	村民の健康の保持増進を図る生涯スポーツの振興	
(1)	方針	
(2)	主な取り組み	
5	安心して子育てができる環境整備と幼児教育の推進	
(1)	方針	
(2)	主な取り組み	
6	住民のニーズに応える教育行政の活性化	
(1)	方針	
(2)	主な取り組み	
V	計画推進体制	8
1	教育振興基本計画の周知等	
2	点検・評価の実施	
3	関係機関等との連携	

I はじめに

1 計画策定の目的

鮫川村教育委員会では、教育振興基本計画策定を定める教育基本法の改正に伴い、令和2年度を初年度として5年間を展望し、鮫川村が目指す教育を描いた「鮫川村教育振興基本計画」を策定いたします。特に、この計画については、「第4次鮫川村総合振興計画」と「鮫川村教育大綱」をもとに、村の教育基本理念の実現に向けて、学校教育や社会教育、社会体育、伝統文化などすべての教育に関する計画を網羅するものです。

鮫川村では、平成30年4月に鮫川小学校と青生野小学校が新たに鮫川小学校として1校に統合され、今では鮫川小学校と鮫川中学校の2校が村の学校教育の中心的役割を担っています。このことから、小学校と中学校との関係がより深まり、さめがわこどもセンターも加わり小中学校連携から幼小中学校接続へと村内の学校教育がより一層充実してきました。その一例として、幼小中の教員が話し合い、「さめがわ連携教育プラン」を策定し、小中学校の教職員が一緒になって協力し、学習、生活、運動面で系統性を踏まえた指導を行い村の学校教育活動の向上に尽力してきました。

一方、我が国では、人口減少が加速化するとともに、少子高齢化や核家族化が進み、航空交通網や情報機器の発展によりグローバル化が進展するなど、近年社会情勢は大きく変化しています。これに伴って、教育を取り巻く環境も大きく変わり、膨大な情報量とともに教育に関する課題も山積し、複雑化・多様化しています。

このような社会状況を踏まえ、国では60年ぶりに教育基本法が改正され、平成30年6月には「第3期教育振興基本計画」が策定されました。そこで、鮫川村では、本村における教育課題や社会の動向を見極めながら、国の「教育振興基本計画」や「福島県教育振興基本計画」との整合性を図り、鮫川村の情勢に沿った教育振興に取り組み、計画された施策を総合的かつ体系的に推進していくため、ここに「鮫川村教育振興基本計画」を策定するものです。

2 計画の位置づけ

この計画は、教育基本法第17条第2項「地方公共団体は、国の計画を参酌し、その地域の実情に応じ、教育の振興のための施策に関する基本的な計画を定めるよう努めなければならない。」という規定に基づく「教育振興基本計画」となります。

村総合教育会議において定めた「鮫川村教育大綱」のもと、学校教育、生涯学習、芸術文化等の各教育分野の基本計画を策定し、鮫川村の教育行政が目指す教育とは何かを明らかにして、鮫川村の教育を振興するための計画です。

3 計画の期間

この基本計画は、2020年度から2024年度までの5か年とします。なお、教育文化全般の取組の評価や見返し、改善の方向性、新たな課題への対応などについて年度毎振り返り、必要に応じて見直しを図ります。

Ⅱ 教育を取り巻く社会情勢

1 今の教育の現状と課題

(1) 少子高齢化の進行

近年、男女ともに晩婚化・非婚化の傾向が進んでいます。このことによって生産年齢人口も減少し、出生率も低下傾向にあり、少子化現象はますます進む傾向にあります。また、人口構造は高年齢層が明らかに膨らんでおり、死亡数が出生数を上回る「自然減少」の傾向が進んでいることで、少子高齢化社会がさらに拡大化しています。本村においても、高齢者と触れ合う機会も少なくなり、地域における家族間の付き合いも減ってきています。このような状況において、誰もが安心して健やかな子どもに育てられる環境を整えるとともに、一人一人が生涯にわたって能動的に学び続けられるような社会を築き上げる必要があります。

(2) 家庭教育の役割と地域社会

核家族化やライフスタイルの変化により家庭環境の多様化が進んでいます。地域共同体の意識が比較的強い本村でも、近年、それぞれ家庭での価値観も多様となり、当たり前と思われていた規範意識も低くなってきました。家庭は人格形成のために、重要な役割を担っており、基本的な生活習慣やしつけの問題、親子関係の大切さなど、家庭教育が重要であることはいまでもありません。しかし、現実には核家族や少子化の課題があり、家庭教育力の低下が懸念されています。

かつては、家庭教育の弱さを補うように、地域の人々が社会でのマナーやルールを教え、地域活動を通して他人への思いやりや善悪の判断などを知る場として大きな役割を担っていましたが、最近では、隣近所や人と人とのつながりが希薄化し、家庭や地域での教育力の向上が課題となっています。

(3) 人々の価値観の多様化

時代が進むにつれて、人の考え方や価値観も多様化し、一人一人の感性や個性を重視する傾向が見られ、その中でも、特に互いに相手を思いやったり、支え合ったり励ましたりするような「心の育成」が求められています。

(4) 高度情報化社会とグローバル化の進展

コンピュータ技術の開発によって情報通信技術がさらに進展し、高度経済成長とともに人工知能が発達するなど、人間の労働力が軽減化されています。また、高度情報化社会となり、世界との通信交流を瞬時に行うことができるなど、グローバル化が加速化し、多くの国々とのコミュニケーションがいつでもどこでも可能になってきています。このような国際社会の中で活躍し、創造性豊かな人財を育成することが望まれています。

2 村の教育の現状と課題

(1) 鮫川村の教育

これまで鮫川村教育委員会では、「人は人によって人になる」という人間尊重の精神を基本理念として、特に急速な少子化社会の中で、豊かな自然と伝統を愛し、よく考え、明るく、豊かで活力に満ちた生活をし、文化の薫り高い村づくりをする自立する人材の育成を目指し、毎年「さめがわの教育」（鮫川村教育委員会行動計画）を作成し取り組んできました。今、世の中は私たちが想像する以上のスピードで急激に変化しています。そんな時代に子どもも大人も高齢者も、だれもが的確に対応して豊かな生活を送ってほしいと願っています。そこで今後は、これまでの実践してきたことを踏まえつつ、ふるさと鮫川の未来を切り拓いていく人づくり～生涯にわたって学び続け、様々な困難を乗り越えながら、いくつになっても夢と希望を持ち、その実現に向けて挑戦し続け、自らの人生を切り拓き、よりよい村づくり・社会づくりに貢献できる人間の育成～を目指して教育の推進に努めています。

(2) 学校教育の現状と課題

本村では、こどもセンター1園、小学校が1校、中学校が1校あり、幼小中による連携が非常に良い形で進んでおり、学習面はもちろんのこと、生徒指導や学校行事についても互いの協力体制が良く、幼小中学校の接続が滑らかに進んでいます。また、将来的に小中一貫教育、そして義務教育学校に促進できる環境となっており、施設の一体化を含めてさらにより良い教育環境の充実が目指しているところです。

一方、小学校の全国学力学習状況調査と県学力調査の結果を分析してみますと、学力向上のため指導方法の工夫と改善に努める必要があり、徹底した基礎的・基本的な知識や技能を確実に習得できるような手立て、さらには多様な問題に対応できる課題解決能力のさらなる育成が必要です。

また、これまで小中学校において、ふるさと教育に重点をおき、活発に活動を行ってきましたが、今後は、ふるさと教育を進める中でふるさとを愛し、ふるさとに貢献しようという心を育むと共に、その学びをとおして「基礎的・汎用的能力」を培い、たくましくそして自分らしく生きる力を身につける「ふるさとキャリア教育」を実践していくことも重要です。

(3) 家庭学習と基本的な生活習慣

学力向上のためには、家庭学習を欠かすことはできません。しかし、様々な環境により学習意欲がない子どもたちや学校の授業に集中できない子どもたちは、家庭での繰り返し学習が少ないため、基礎的・基本的知識が十分に身に付いていない状況も見られます。その課題を解決していくためには、毎日の家庭学習を習慣化させることが大切です。そのためには、やはり幼児期からの基本的な生活習慣がとても重要であり、幼児期からの家庭教育にもしっかりと目を向けることが肝要です。そのひとつの対策として、子どもが小さな段階から子育て教室や家庭教育学級等を行い、基本的な生活習慣の大切さについて保護者が学ぶ機会を設けることも重要です。

(4) 村の人口動態と教育の役割

本村の人口動態は、昭和45年に6,754人でしたが、それ以降一貫して減少し、平成31年には3,339人と約50年で2分の1になりました。数年後には、3,000人を割り込むことが予想され少子高齢化が進行しています。そこで、教育環境の安定化を図ることで学校教育の質を高め、人口動態の自然減少よりも社会増加となるような「子どもの教育にとって住みよい村づくり」を進めていくように努めていかなければなりません。村内外から誰もが「住みたい村」となるように、時代に即応した教育環境を整えていく必要があります。

Ⅲ 基本理念と教育の基本目標（鮫川村教育大綱より）

1 基本理念

つながりで支え輝く村づくり ～笑顔あふれるふるさとの創造～

高齢者・子ども・若者と女性が地域の和でつながり、生きがいと夢を持って実現できる村づくりを目指すとともに、先人のたゆまぬ努力により紡いできた美しい自然や文化を継承し、新しい時代にふさわしい「ふるさと鮫川」を創りあげます。

2 教育の基本目標

ふるさと鮫川の未来を切り拓いていく人づくり

生涯にわたって学び続け、様々な困難を乗り越えながら、いくつになっても夢と希望をもち、その実現に向けて挑戦し続け、自らの人生を切り拓き、よりよい村づくり、社会づくりに貢献できる人づくりに努めます。

～ め ざ す 人 間 像 ～

- いのちを大切にする人
- 夢や希望をもって学び続ける人
- 困難を乗り越え、自らの人生を切り拓く人
- 自ら進んで健やかな体を育む人
- スポーツや文化芸術に親しむ人
- つながりを大切にし、思いやりのある人
- 自然を慈しみ、ふるさとを愛する人

これは「鮫川村総合教育会議」において定めた「教育の基本目標」であり、学校教育と社会教育を網羅した生涯学習を通して村民の育成を目指すものです。

目指す村づくりを実現していくためには、お互いのコミュニケーションを大切にしながら、住みよい環境をつくる必要があります。それを実行するのは、「人」そのものであり、さめがわの未来を切り拓いていく社会に貢献できる人を育成しなくてはなりません。その人づくりのために、まず社会教育環境はもちろんのこと、学校教育環境を充実させ、教育環境を整えていく必要があります。特に学校教育では子どもたちに確かな学力を身に付けさせ、無限の可能性を持っている子どもの能力を引き出すとともに、社会教育と協働しながら豊かな心を育て、活力ある村づくりができる人づくりが求められます。また、常に夢や希望を持って心豊かに生活していくためには、村民が様々な生涯スポーツ活動や文化活動等に参加したり、村の文化財を通して村の歴史や伝統に触れることも重要であり、社会教育が担う役割も大きいものとなってきます。

3 基本目標実現に向けての基本的施策

教育の基本目標である「ふるさと鮫川の未来を切り拓いていく人づくり」を実現するため、6つの基本的施策を設定します。

- 1 生涯にわたって楽しく学び、生きがいに満ちた生涯学習の推進
- 2 夢と希望をもって、学び続ける子どもを育む学校教育の推進
- 3 ふるさと鮫川を未来につなぐ豊かな文化芸術活動の推進
- 4 健康の保持増進と生きがいをはぐくむスポーツの振興
- 5 安心して子育てができる環境整備と幼児教育の推進
- 6 住民のニーズに応える教育行政の活性化

これらの6つの基本的施策は、個々に独立して方向性を定めるのではなく、それぞれ基本施策ごとにバランスよく関わりを持ちながら、教育活動を通して基本目標を達成していくものです。

IV 基本的施策の具体的な取り組みについて

1 生涯にわたって楽しく学び、生きがいに満ちた生涯学習の推進

(1) 方針

村民が生涯にわたり日常的に学習できる体制や施設を整備し、学習機会の提供の多様化と参加者数の拡大を目指します。

(2) 主な取り組み

- ① 子どもから高齢者までが、興味関心をもって積極的に参加できる学習

や体験の機会を提供するとともに、学習施設の整備に努めるなど、生涯学習推進体制の充実を図ります。

- ② 子育てや家庭生活、体験活動など、ニーズに応じた特色ある講座・教室の運営を行います。
- ③ 充実した蔵書と読み聞かせなどの読書活動を充実させ、村民に親しまれる図書館運営に取り組みます。
- ④ 青少年の交流体験活動やボランティア活動を充実させるなど、青少年健全育成事業に積極的に取り組みます。
- ⑤ P T A（父母と教師の会）や子育て支援団体などの社会教育関係団体活動の活性化に努めます。

2 夢と希望をもって学び続ける子どもをはぐくむ学校教育の推進

（1）方針

小中学校では、常に夢と希望を持ち、その実現に向かって学び続ける子どもの育成を目指します。

（2）主な取り組み

- ① 学ぶ喜びや楽しさを実感しながら主体的に学習に取り組み、望ましい学習習慣を身につけるとともに、確かな学力の向上に努めます。そのためにも、学力向上推進事業を推進し、教職員の資質や指導力の向上に努めます。
また、幼小中の連携教育を一層進め、特に小中学校は将来的に小中一貫教育校、義務教育学校への移行を進めていきます。
- ② 道徳教育や読書活動など学校の教育活動全体で自分や他者を大切に作る心や自己肯定感等を育み、豊かな心の育成に努めます。また、いじめ、不登校などの未然防止・早期対応に取り組みます。
- ③ 望ましい生活習慣や食習慣を身につけるとともに、体育の日常化に取り組み、健やかな身体の育成に努めます。
- ④ 特別に支援を必要とする子どもたち一人一人に寄り添ったきめ細やかな支援及び環境整備を行い、自立や社会参加に必要な力を育みます。
- ⑤ ふるさと鮫川を愛し、誇りに思う心を育むとともに、自分の将来の夢に向かってたゆまぬ努力を続ける心を育みます。
- ⑥ 学校だけでなく地域社会全体で、子どもたちを育み、子どもたちが社会的、精神的に成長できるよう支援します。その実現に向け、小中学校に「学校運営協議会」を設置し、コミュニティースクールを目指します。
- ⑦ 子どもや教職員が、安全で安心して学校生活を送れるような教育環境づくりに努めます。

3 ふるさと鮫川を未来に引き継ぐ文化芸術活動

(1) 方針

村民が郷土を深く理解し、地域に根ざした活動をとおして新しい文化の創造を推進します。

(2) 主な取り組み

- ① 村の特色を生かした芸術文化事業や文化祭などの開催を支援します。また、質の高い文化芸術に触れる機会を充実し、地域の文化力の向上と村民が主体となった芸術文化活動の促進を図ります。
- ② 文化財をはじめとする村の貴重な歴史資源や伝統文化を後世に継承する取り組みを進めながら、情報発信や公開などにより、郷土の歴史や文化の理解促進を図ります。

4 村民の健康の保持増進を図る生涯スポーツの振興

(1) 方針

村民が健康で生涯にわたってスポーツが楽しめる体制や施設を整備し、生涯スポーツやニュースポーツの普及を推進します。

(2) 主な取り組み

- ① 村民がスポーツへの関心を高め、様々なスポーツに自主的に取り組めるよう、スポーツに関する広報・啓発活動や情報提供の充実を図ります。
- ② 安全性の向上、利用促進に向け、村民のニーズを踏まえながら、各スポーツ施設・設備の整備充実を計画的に推進します。
- ③ 村のスポーツ振興を総合的かつ効果的に進める「さめがわスポーツクラブ」を中心にスポーツ事業の一元化を図り、多様なスポーツ活動の普及を推進します。

5 安心して子育てができる環境整備と幼児教育の推進

(1) 方針

子育てへの負担感や不安を軽減し安心して子育てができるよう支援体制の充実や子育て環境の整備に努めます。また、こどもセンターにおける幼児教育の充実に努めます。

(2) 主な取り組み

- ① 子育てに関する相談・指導、学習・交流の場の提供等を積極的に行います。
- ② 放課後子ども教室など、子育て環境の整備に努めます。
- ③ こどもセンターにおける保育・教育活動の充実に努めます。

6 住民のニーズに応える教育行政の活性化

(1) 方針

村民の要望・要請に的確に対応する体制を整えるとともに、新しい教育の展望に立つ教育行政を計画的に推進します。

(2) 主な取り組み

- ① ”今”の教育行政が見えるよう、積極的な情報発信に努めます。
- ② 10年後、50年後を見通した計画性のある教育行政を推進します。
- ③ 学校教育を支援する「学校地域支援本部」を設立します。

V 計画推進体制

1 教育振興基本計画の周知等

この教育振興基本計画に掲げる基本目標・基本的政策や具体的施策について、住民の関心を高め、広く理解されるよう、情報発信・広報活動に努めます。また、住民の思いや意見を把握しながら、村民すべてが教育の担い手であるという意識の向上を図ります。

2 点検・評価の実施

鮫川村教育委員会においては、この教育振興基本計画の進捗状況などについて、PDCA サイクルの考え方にに基づき、適切に点検・評価を行い、その結果を施策に反映させ、計画の確実な推進と実現に努めます。

3 関係機関等との連携

教育振興基本計画の推進にあたっては、学校・家庭・地域・関係機関などとの連携が不可欠です。それぞれの役割を認識し、連携を図っていきます。また、国や県の取組、第4次鮫川村振興計画などを参考にしながら連携を図り、特色ある教育行政を推進していきます。